



青指だより



このマークは、青少年にやさしい
環境を願ってヨコハマの青少年
指導員が決めたものです。

あいちゃん

第 29 号
平成25年7月発行
承認西区 第 号

発行 西区青少年指導員協議会

西区中央一丁目5番10号 西区役所地域振興課
電話 320-8393 FAX 322-5063

みなとみらい地区初の青少年指導員による、青少年指導員活動を通じての感想

みなとみらい地区青少年指導員 仁科 典子

昨年よりみなとみらい地区の青少年指導員として委嘱されました、仁科典子でございます。新人の私は第1地区に入れて頂き戸部中心に虫の音を聞く会やパトロール等の活動を通じて、自分の生まれ育った地を愛し、隣人を大切に、地域の為に心を込めて活動される人情味豊かな方々と接し、地域と関りあう事の大切さを改めて知りました。

たった10年の歴史しかないMM地区ですが、西区人口10万人弱のうち約8千人と1割近くを占めており、私一人で一体何ができるか早速大きな壁にぶつかっています。

しかしながらMM地区でも3、4年前からMM大盆踊り大会や11月には高島中央公園での秋祭り等を楽しみにして下さる方が増え、少しずつ地域での交歓もはじまって参りました。

さらに他の地域の多くの方々と様々なイベントや活動を通して、西区全体が一体となって交流し、親睦を深める事ができるよう願うと共に、微力ながら青少年育成のために一生懸命つとめさせて戴く所存です。今後ともご指導の程をよろしくお願い申し上げます。



平成24年度西区青少年指導員協議会研修会を終えて

研修部長 第4地区会長 中島 祐一

本年度の「青少年のインターネット・携帯電話の利用について」という研修テーマは、ネットと触れているか否かで理解のし易さが大きく違うという点が問題になると危惧したことから、講師の中島尚樹氏と御相談の上で用語の解説を実際の出来事と重ねながら行わせて頂きました。

ご参加頂きました皆様の研修当日の真剣な眼差し、また、概ね好評なお言葉を頂戴出来たことは、研修部員一同の励みとなったことは言うまでもございません。

このテーマに該当する年齢のお子様がおられないと直接役立たないように感じられた方々もおられると思いますが、最新の事情に通じ話の引き出しを多く持つことは、父兄の方々との会話を通して必ずや青少年の健全育成に役立つものであると思っています。

研修部長就任初年度の研修であり、会場も仮会議室であったことから至らぬ点多かったと思いますが、研修部員の皆の協力のもと無事に終えられたことに感謝し、その反省を踏まえて、今後の研修会を企画して参りたいと感じた研修会でした。



第 1 地区

第1地区紙ヒコーキ予選会は、平成24年11月25日（日）午前10時より、戸部小学校体育館で開催しました。参加対象4ブロックのうち、残念ながら、中学生の参加はありませんでした。小学校低学年の部は7名、高学年の部は5名、一般の部は3名、全部で15名の参加でした。この15名は、1週間前の18日（日）に戸部コミュニティハウスで、紙ヒコーキの作製とルール説明会に参加してくれました。皆さん、大変に真剣な表情で、一生懸命自分のヒコーキを作っていました。そして、予選会当日は、応援のお父さんお母さん方も、多数駆け付けて下さり、大変に盛り上がりました。競技は参加者の数が少なかった為、1名ずつの試技にしました。皆、少し緊張しながらも、楽しそうでした。成績は、全体の1位は一般の部の4.4秒という、思っていた以上に短いタイムでした。それぞれ3ブロックの1～3位の9名が、3月17日（日）の西区大会に進出しました。各選手の健闘を祈ります。



第 2 地区

平成25年2月10日（日）に第2地区では西区紙ヒコーキ大会の予選を西前小学校体育館にて行ないました。当日の午前中には百人一首大会と子供作品展を開催し、お昼にはお母さん達の手作りカレーをいただいた後、午後から参加人数25名程で盛大に予選会を開催しました。予選会に先立って3日（日）には西前コミュニティハウス和室にて予選会用紙ヒコーキの作り方教室を開催し、参加人数こそ少なかったのですが、皆予選突破に向け真剣に紙ヒコーキを製作していました。



予選会当日は、中学生の部からスタートし最後の一般の部まで参加者全員が力作の紙ヒコーキを飛ばしました。旋回しながら優雅に飛ぶヒコーキに拍手が出たり、飛ばした途端に落下するヒコーキに苦笑したり参加者と応援のご父兄全員が楽しく和やかなうちに閉会しました。

結果は総合優勝では小学生3年生以下の部の4.2秒というタイムでしたが3月17日（日）の西区大会では各ブロックとも是非、優勝カップを第2地区に持ち帰って欲しいと思います。それでは第2地区の参加選手の健闘をお祈り致します。

第 3 地区

第3地区紙ヒコーキ予選会は平成25年2月17日（日）に稻荷台小学校体育館で開催しました。参加者は低学年8名、高学年5名、一般5名の全部で18名の参加でした。第3地区では各自が作ってきた紙ヒコーキと青少年指導員が用意した紙ヒコーキで競技を行いました。同じ型紙で作った紙ヒコーキですが翼の折れ具合や飛ばし方によって、滞空時間は違ったものとなり、練習では、子供も大人も一緒になって翼の調整や投げ方、飛ばす角度を変えて熱中して飛ばしていました。競技は1名ずつの試技で行なわれ、滞空時間の長さが記録になります。飛んで喜んでいる子、飛ばないで悔しがっている子、いい緊張の中で一生懸命に紙ヒコーキを飛ばし楽しんでいました。優勝者のタイムは低学年2.7秒、高学年4.0秒、一般5.6秒でした。各ブロック上位3名の方々、西区大会頑張ってください。また、子供から大人まで楽しんで競技ができますので、次回は皆様の参加をお待ちしています。





第1回西区紙ヒコーキ大会 各地区予選会報告

第4地区

平成24年度第4地区紙ヒコーキ予選会は、予選会前の1月17日に第4地区会館にて、参加希望者に対して大会ルールと紙ヒコーキ作成講習会を実施後に、2月3日（日）午前10時から一本松小学校体育館で開催されました。

参加総人数35人（小学校低学年の部18人・高学年の部4人・中学生の部0人・高校生以上一般の部13人）で、第四地区の林会長はじめ、青少年指導員立会のもと、皆さんの熱気に包まれて盛り上がった予選会となりました。

対空時間を競った結果、各部門上位3名の入賞者が3月17日（日）に開催される西区紙ヒコーキ大会への参加者として表彰されました。

そして予選会参加者の皆さんからの拍手による応援にこたえ、大会に参加する入賞者全員で上位入賞を誓いました。



第5地区

第5地区紙ヒコーキ予選会は、平成25年2月17日（日）午前10時より、平沼小学校体育館で開催しました。小学校低学年の部4名、小学校高学年の部4名、中学生の部0名、一般の部8名、全員で16名の参加がありました。予選会前の練習飛行では各自個性あふれるヒコーキが飛び交いました。壁や床に激突する紙ヒコーキや上手に旋回する紙ヒコーキなどいろいろでした。予選会本番は一人ずつ投げ好記録が続出しました。



緊張のせいか思ったほどの記録が出ない参加者もいましたが無事に予選会が終了しました。

終了後記録発表があり西区大会に選ばれた参加者はさらなるレベルアップのため父親といっしょに新紙ヒコーキの作成に意欲を燃やす参加者、今回残念ながら予選敗退となる結果にリベンジを誓う参加者など、和やかな雰囲気でも終わりました。

第6地区

第6地区の予選会は、中学生が参加し易いようにと軽井沢中学校の体育館をお借りして行いました。予選会に遡る平成24年12月15日（土）の第5地区との合同説明会には、雨にもかかわらず50余名の参加申し込みがありました。また、説明会当日の午前中に浅間台小学校でフェスティバルが行われていた関係で、午後には浅間台小学校へ出向き説明会を行いました。そのような事前活動で迎えた平成25年1月27日（日）予選会当日でしたが、予想通り中学生の参加者は少なく総勢でも20名となってしまいました。それでも参加して下さった方々は、体育館の寒さにも負けず紙ヒコーキを楽しく飛ばしていました。

その中には一般の部として軽井沢中学校の大村校長先生も参加して下さいましたが、残念ながら4位で予選通過とはなりません。各部上位3名の方々には決勝大会で頑張ってくださいと思います。また、来年はより多くの参加者で開催したいと考えております。



第1回 西区紙ヒコーキ大会

優勝者インタビュー



平成25年3月17日、第1回西区紙ヒコーキ大会が西スポーツセンターで開催されました。

本大会には、第1～6地区で行われた予選会で、各部門で第3位までに入賞したみなさんが地区代表として出場しました。多くのご父兄の皆様も応援に駆けつけられ、大会当日は熱気あふれるものとなりました。

総勢120名を超える参加者の中から激戦を勝ち抜き、見事各部門で優勝に輝いた4名のインタビューをお届けします。

小学校 低学年の部



小倉 和也くん (第3地区)

優勝記録：4.53秒

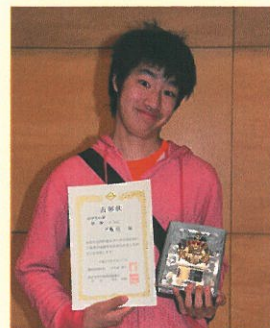
優勝の小倉くんは4.53秒というダントツの飛行時間を記録。「お父さんも以前、西区代表に選ばれたんだよ!」とハキハキ元気に答えてくれました。DNAは確実に受け継がれたようです。

伊藤 魁くん (第6地区)

優勝記録：4.44秒

「なんもいえねえ。」と水泳・北島選手のものまねで答えてくれた伊藤くん。紙飛行機の制作中に糊がなくなってしまい苦労したそうですが、「楽しかったです。やっぱり優勝はうれしいです。」と笑顔でした。

中学生の部



優勝おめでとうございます!!

小学校 高学年の部



三浦 拓巳くん (第1地区)

優勝記録：3.75秒

小学校高学年の部は、優勝と2位が僅か0.09秒差の大接戦。優勝した三浦くんは「2投目を慎重に投げたら、良い結果になり、たいへんうれしいです。」とのコメントでした。

渡邊 和之さん (第3地区)

優勝記録：6.43秒

6.43秒と、2位以下を大きく引き離す好タイムを記録された渡邊さん。息子さんも低学年の部で準優勝となり、親子揃っての入賞に喜びもひとしおの様子でした。

高校生以上・ 一般の部



■ 編集後記 ■

広報部長 門馬 一美

今号では、みなとみらい地区の仁科さんの青指活動の感想、研修会の内容、そして、第1回西区紙ヒコーキ大会の各地区の予選会の様子、本大会での各Bの優勝者のインタビューなどを掲載しました。紙ヒコーキ大会は予選から、各地区共、大変に盛り上がったようでしたので、早くも、次回第2回大会を、楽しみにしているという声が多くありました。私達青指もまた、色々企画をしていきたいと思っています。

<第23期 広報部員>

| | | | |
|------|-------|-------|--|
| 広報部長 | 門馬 一美 | | |
| 第1地区 | 重田 昭雄 | 仁科 典子 | |
| 第2地区 | 海老塚 誠 | | |
| 第3地区 | 増田 健二 | 豊島 宏之 | |
| 第4地区 | 岩崎 清人 | 金子 秀樹 | |
| 第5地区 | 久保寺克宗 | 瀧澤 博志 | |
| 第6地区 | 澁谷 正道 | 福島 宏昭 | |